

令和7年2月1日

保護者様

千葉市立みつわ台北小学校
校長 中山 宏 志

学校評価アンケート 集計結果のお知らせ

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日実施いたしました学校教育のアンケート調査（※1）につきましては、ご多用のところご協力いただきありがとうございました。その結果（※2）がまとまりましたので、ここにご報告いたしますとともに、来年度の教育活動に生かして参りたいと存じます。

（※1）評価項目は、学校教育目標及び、めざす子ども像に準拠しています。

（※2）以下の表に示しています。数値は、皆様から4段階で回答して頂いた評価の平均値です。

4…そう思う 3…少しそう思う 2…あまり思わない 1…思わない

数値が高いほど望ましい評価となっています。

I アンケート結果

太字・下線は昨年度より数値が上回ったもの

番号	評価項目	児 童		保 護 者		教 職 員	
		令和 6年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 5年度
①	子供たちに基礎・基本の学力を定着させるよう努めている。	3.38	3.54	3.59	3.61	<u>3.83</u>	3.80
②	子供たちに対して、話している人の方を向いて聞いたり、進んで発表したりできるよう努めている。	<u>3.22</u>	3.20	3.50	3.56	<u>3.92</u>	3.50
③	子供たちが学習に興味・関心をもち、意欲的に取り組めるよう努めている。	3.18	3.22	3.46	3.50	<u>3.83</u>	3.60
④	子供たちに家庭での宿題や課題に取り組む習慣が身に付くよう努めている。	<u>3.32</u>	3.28	<u>3.37</u>	3.33	3.25	3.35
⑤	子供たちに粘り強く学習するよう努めている。	<u>3.48</u>	3.37	<u>3.14</u>	3.13	3.25	3.50
⑥	子供たちが気持ちよい挨拶ができるように努めている。	3.43	3.50	3.49	3.49	<u>3.42</u>	3.30
⑦	子供たちが相手を思いやる行動や、言葉遣いに気をつけるよう努めている。	<u>3.26</u>	3.25	3.30	3.34	3.42	3.65
⑧	きまりを守り、自分なりに正しく判断して行動する子供の育成に努めている。	3.33	3.35	3.43	3.43	<u>3.83</u>	3.60
⑨	子供たちの体力作り（体育の学習や外遊びの中で）ができるよう努めている。	3.41	3.43	<u>3.43</u>	3.31	<u>3.33</u>	3.20
⑩	子供たちが健康で安全な学校生活が送れるよう努めている。	3.32	3.47	<u>3.51</u>	3.47	3.50	3.75
⑪	子供たちが栄養を考えたバランスのよい食事が摂れるよう努めている。	3.22	3.40	<u>3.78</u>	3.75	3.17	3.45
⑫	子供たちが係や委員会の仕事を最後まで投げ出さずに取り組むよう努めている。	3.53	3.62	3.54	3.59	3.33	3.55
⑬	学年だより、連絡帳、電話等で学校の様子が伝わるよう努めている。	3.33	3.22	3.32	3.37	3.08	3.50
⑭	子供たちが早寝、早起き、朝ごはん（規則正しい生活）ができるよう努めている。	<u>3.12</u>	3.05	<u>3.14</u>	3.10	2.92	3.20
⑮	子供たちが学校で楽しく過ごせるよう努めている。	<u>3.61</u>	3.55	3.56	3.59	3.75	3.85

Ⅱ 考察

1 めざす子ども像「頭の元気なみつ北っ子 ―知育―」に関して

＜主に質問項目①～⑤について＞

児童の学力向上を目指し、「習慣化と反復で基礎学力の向上を図る」をスローガンに取り組んでいます。基礎・基本の確かな習得をめざし、一人一人の学習の定着度を見極めた指導の改善、子に応じた指導の工夫を進めてきました。朝の時間帯の使い方を工夫し、昨年度と同様に月曜日は「読書タイム」、火曜日から金曜日までを「朝学習」として、国語と算数のドリル等で反復学習を行いました。

これらのことから、項目①や③において教職員の数値は高くなっています。しかしその一方で、児童の数値は昨年度より少し下がってしまっています。教職員が力を入れて指導しているものの、児童はできるようになった実感を得られていないことが考えられます。単元途中で確認の小テストを実施するなどして、児童が自分の理解を確認できるような取組を行います。また、同じ傾向がみられるのが項目②です。教職員は全ての項目の中で②が一番高い数値でした。これは、本校が校内研究で国語について学び、話の聞き方や発表の仕方について研究してきたことから数値が高くなったものと考えます。しかし、①③と同様に、児童の自己評価は大きくは伸びませんでした。ギガタブを活用したり、話し合いのさせ方を工夫したりして、引き続き授業の改善を図っていきます。

項目①～⑤の中で、児童の数値が高かったのは⑤でした。しかし保護者・教職員の項目⑤は低くなっています。学習について児童は「粘り強くやっている」と思っている一方で、我々大人は「いやいや、もっとやれる」「もっとがんばれ」と考えてしまっている可能性があります。児童のがんばりを認めてあげる機会を増やしていきたいと考えます。

2 めざす子ども像「心の元気なみつ北っ子 ―徳育―」に関して

＜主に質問項目⑥～⑧について＞

引き続き道德教育の充実を目指し、全教科・領域を通じた道德的価値の理解を深める学習に取り組んできました。項目⑥の「気持ちよい挨拶」では、微減していますが登校時の挨拶をはじめ、廊下ですれ違った際には挨拶する児童が多くいることから、引き続き挨拶するよさを伝えていきたいと考えます。項目⑦の「思いやる行動・言葉遣い」では、昨年度とほぼ同じ数値でした。たてわり活動を通して、相手を思いやる気持ちを持たせたり、いじめ防止対策の観点から、毎月の「えがおアンケート」の実施、年2回の教育相談週間を設けたりと、よりよい学校生活が送れるよう取り組んでおります。項目⑧の「きまりを守り正しく判断」では、昨年度とほぼ同様の数値となっています。来年度も生活上のルールを明確化し、児童の豊かな心を育んでいきたいと考えます。

3 めざす子ども像「体の元気なみつ北っ子 ―体育―」に関して

＜主に質問項目⑨～⑪について＞

保護者と児童で数値が上がったのは、項目⑨です。今年度も引き続き、年間を通して児童にマラソンを奨励しています（暑い時期を除く）。また、体育委員会主催の「大谷グローブ」活用企画やダンス教室など、休み時間にも児童が自主的に運動できるような工夫をしています。引き続き楽しく運動できる機会を作り、児童の体力向上に努めます。

項目⑪は、保護者が全ての項目の中で一番高く評価していただきました。これからも児童が毎日健康に過ごせるよう、栄養バランスのよい給食の提供を心がけます。また、児童への食育についても、継続して実施していきます。

4 その他

＜質問項目⑫～⑮について・全体を通して＞

児童の回答が全体の中で一番高くなったのは、項目⑮です。昨年よりもさらに数値が上昇しています。多くの児童は学校生活を楽しく過ごせていることがわかります。これからも一人一人を大切にしながら、生き生きと楽しく学びあえる学校をめざして取り組んでいきたいと考えます。

Ⅲ 身につけさせたい態度や行動アンケート（保護者のみの設問）とその考察



- 心や心情を高める教育（「感性豊かな子」の育成）の充実: 95（56.4%）
- しつけや集団としての基本的生活習慣の充実: 68（40.2%）
- 基礎・基本（読み・書き・計算）の力等を高める教育の充実: 60（35.7%）
- 基礎・基本とともに思考力や応用力を高める教育の充実: 52（30.9%）
- 学習の仕方や学び方（学習解決の方法）についての充実: 50（29.7%）
- 健康・体力向上について考えたり、実行したりする教育の充実: 14.7%（14.7%）
- 体験活動の充実（体験を通じて自分に合った生き方の育成）: 63（37.5%）
- 言語活動の充実（自分の意見を自分の言葉で発表したり、書き表したりする力）: 76（45.0%）
- 今日的課題（福祉・環境・国際理解・情報等）に関する教育の充実: 17（10.2%）

<アンケート結果から>

保護者の皆様が一番多く選んだのは「心や心情を高める教育」です。これは、昨年の調査でも1位でした。保護者の方の優しさや誠実さなどを身に付け、感性豊かな子に育ててほしいという思いを感じます。学校では、年間35時間実施する道徳科の授業を中心に、各教科の学習・学級活動・学校行事など、全ての教育活動を通して、児童の「豊かな心」を育てていきます。

2番目に多かったのは「言語活動の充実」です。国際化・情報化が進み、状況がめまぐるしく変化している社会において、主体的に力強く生きていくためには、自分の思いや考えをしっかりと抱き、表現する力が重要です。本校でも「自分の思いや考えをもち、伝えあうことのできる児童の育成」を校内研究の主題とし、児童が伝え合うための知識・技能を習得し、国語力を高めるための研究をしております。また、言語活動には、伝え合うことだけでなく、自分の気持ちや感想を文章に書き表したり、相手にわかりやすく発表したりすることも含まれます。様々な教育活動において言語活動を充実させていきます。

3番目に多かったのは「しつけや集団としての基本的生活習慣の充実」です。「しつけ」とは、児童の人格や才能等を伸ばし、社会において自立した生活を送れるようにすること等の目的から、児童をサポートして社会性を育む行為です（厚生労働省ホームページより）。保護者の皆様は、各学級において年に数回取り組んでいる「キャリアパスポート」についてご存じでしょうか。児童が学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返り、将来の生き方を考える活動を行う際に活用します。しつけの目的と似ていましたので紹介しました。キャリアパスポートをはじめ、様々な教育活動を通じて、児童のしつけや集団としての基本的生活習慣を育みます。

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回の集計結果については、学校ホームページにも掲載させていただきます。